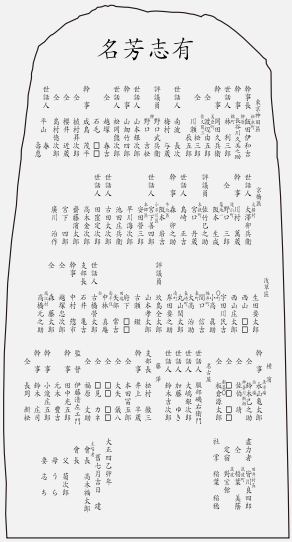
① 六祖神霊之碑

大正４年旧７月吉日建立

六所神社は明治 43 年に廃社となり、旧跡は荒れ果て、一面の草むらの中にわずかに旧本殿や拝殿などの礎石が点在するのみという悲しむべき有り様だった。

筑波山を巡峰された教祖髙木𦬊照先生は、天照大神ゆかりの霊跡の荒廃に驚き悲しみ、旧跡を保存するだけでなく、自らが御神体を奉じて祭祀の任にあたられた。

裏面には当時の修徳会会員や地元の有志の方々の名が記されている。